人間環境活性化研究会（HEART の会）

第 10 回見学会のご案内

（裏面にアクセス図）

見学施設：日本航空安全啓発センター　及び　ＪＡＬ整備工場

日本航空安全啓発センター

２０年前１９８５年８月１２日、ＪＡＬ123 便が御巣鷹の尾根に激突し、５２０名の尊い命が失われた。その事故の悲惨さ、遺族の苦しみや悲しみ、航空安全に対する不信など、社会に与えた衝撃は未だに忘れることは出来ない。

日本航空は、事故の教訓を風化させてはならない、安全運行の重要性を再確認する場としてとして、この安全啓発センターを設置した。（最近のＪＡＬのトラブル多発に対し、国土交通省から事業改善命令が出され、社外有識者の指摘もあって昨年 2006 年４月に開設された。）

このセンターには、ＪＡＬ123 便の残存機体の一部及び事故原因の究明結果をはじめ、創業以来経験してきたＪＡＬの航空機事故の記録を展示しており、社員一人一人の研修の場としている。

事故の主因である**後部圧力隔壁**の残骸、事故機の蛇行迷走３２分間にしたためた乗客の覚悟の遺書などの展示は圧巻である。社員の研修施設なので時間の制限はあるが、航空安全に関心のある一般人にも見学を受け付けている。

ＪＡＬ整備工場

整備工場の見学は、ＪＡＬの広報部が担当しており、如何に安全運行に留意しているかをＰＲする。子供航空教室；６０分のＡコース　と　一般；９０分のＢコースがある。

我々のＢコースは　工場見学オリエンテーション；４５分、航空機整備状況の現場見学；４５分

見学会当日のスケジュール等

○第一見学場；日本航空安全啓発センター　　人数と時間に制限があるので

第一組；１０名　　見学時間　１０時～１１時　　係員による説明を聞きながらの見学

第二組；１０名　　見学時間　１１時～１２時　　同上

「集合日時」　平成１９年３月６日（火）　　各組見学開始時刻１０分前

「集合場所」　東京モノレール　**整備場駅**　改札口　（１ヶ所です）

第一組参加者は、係員の一時間の説明では不十分な場合、フリーに観て回れるし、資料室も自由に閲覧できるので、更に理解を深めることも出来ます。　又、空港ターミナルでジャンボ機の発着を眺めるのも良いかと思います。

○第二見学場；ＪＡＬ整備工場　　（午後の部だけの参加もＯＫです）

「集合日時」　平成１９年３月６日（火）　１３時１０分

「集合場所」　東京モノレール　**新整備場駅**　改札口（１ヶ所です）　（整備場駅とは別の駅です）

「見学時間」　９０分間　　１３時３０分～１５時００分

○懇親会場　　ユーティリティセンタービル２階ブルーコーナー；　希望者；楽しく語り合いましょう！

ＪＡＬ整備工場のすぐ前　　１５時３０分より

○参加費用　　見学入場料はいずれも無料です。

懇親会費　；３、０００円

○参加申込み

同封の参加申し込み票にご記入の上、郵送またはFAX（03－3586－4393）にてお申し込み下さい。